



理念

何か世の為 人の為

青雲だより

2011

3月号

vol.46



5階 特室A横

(画：H.Kawaida)

院内症例研究会

教育委員長 臼井 邦明



恒例の院内症例研究会が2月26日(土)、青雲会病院3階会議室にて開催されました。

各部署忙しい毎日の仕事の中でテーマを決め1年間研究を重ね、まとめあげた素晴らしい発表でした。また今年は青雲会病院顧問、愛甲孝先生にコメンテーターとして出席をお願いし、数多くの学会を経験された先生ならではの各発表者への貴重なアドバイスをいただき、職員もたいへん勉強になりました。来年もより素晴らしい発表会になるよう職員のみなさまには頑張っていたきたいと思います。

医療機器の紹介

＜人工透析 (Hemodialysis:HD)＞

人工透析とは、腎臓の働きが低下したことにより、体内に貯まった老廃物と余分な水分を尿として排出できなくなった患者に対して行う治療です。

当院の人工透析室は、泌尿器科の有馬純一郎医師と山川健一医師、内科高塚富生医師を中心に、臨床工学技士3人、看護師8人が従事しています。

水処理装置、透析液供給装置、透析監視装置20台を導入しております。水処理装置、透析液供給装置では透析液の清浄化を図り、よりクリーンな透析液を提供しています。

外来維持透析患者のみならず、霧島・始良地区の重症化した透析患者や他科の手術目的やりハビリ目的の透析患者、急性腎不全の患者等の受入れ治療を行っています。

人工透析室では、患者が安心して治療が受けられるようにスタッフ全員一丸となり治療技術の質の向上と、快適な環境を提供して参りたいと思います。

＜高気圧酸素治療 (Hyperbaric Oxygenation:HBO)＞

高気圧酸素治療は、密閉できる装置で大気圧よりも高い気圧環境のなかで純酸素を呼吸することにより、血液中に大量の酸素を溶解させ身体のすみずみまで酸素を行きわたらせ、生体内に生じた低酸素状態を改善させる治療法です。

当院は、一人用の第1種装置を2台導入しています。治療方法は、装置内に入り、大気圧から2気圧に気圧を上げます。治療時間は加圧15分、2気圧状態60分、減圧15分の90分間です。加圧時に耳の違和感がありますが、耳抜き動作をすることで、ほとんど消失します。

主な救急対象疾患は、①腸閉塞 ②脳塞栓 ③急性一酸化炭素中毒(ガス中毒) ④突発性難聴 ⑤網膜動脈塞栓症 等です。

当院では、主に腸閉塞、脳塞栓患者などがこの治療により改善しています。

又、治療には大量の純酸素を使用します。酸素は可燃性が強いいため、安全対策として、所持品等のダブルチェックを行い、専用衣類を着用し治療します。

高気圧酸素治療室では、密閉された特殊な環境下で治療を受ける患者の不安を少しでも和らげるよう心配りを提供して参りたいと思います。



人工透析室



有馬医師(前列中央左)・山川医師(前列中央右)と透析室スタッフ



高気圧酸素治療第1種装置

所属長★エッセイリレー

企画地域連携室長 川井田富士子

皆様、初めまして。企画・地域連携室室長の川井田富士子と申します。

私は1階で医療ソーシャルワーカー2人と楽しく仕事をしています。

（入院中に何かお困りのこと、また退院後の医療・福祉サービス等のご相談は、医療ソーシャルワーカーにお申し付けください。）

さて、私は青雲会の接遇実行委員会の委員長もしております。

接遇とは「おもてなしの心」を表現することであり、対人マナーです。

接遇は、組織の人材育成にも大きな影響を与えています。私は、

「規則の無い環境は人間を堕落させ、成長しない」と考えております。

青雲会がそのような生ぬるい組織では、多くの皆さんに喜んで

いただけないと思い、所属長を中心とした青雲会接遇実行委員会を立ち上げ、委員会の中で挨拶・行動・言葉使い等、青雲会独自の接遇マニュアルを作りました。

「青雲会接遇マニュアル」は毎日朝礼で唱和し、職員一人一人が努力しながら実行しております。

少しずつ少しずつ接遇が浸透し、改善されていった結果、職員間の人間関係が良くなっていると感じます。

全職員を対象に行った接遇アンケートでも、「気持ち良く連携が取れる」「感じの良い職員が多い」等前向きな回答がほとんどでした。私は、このような職場環境になったことを大変嬉しく思い、接遇実行委員会を誇りに思います。患者さんやご家族の皆様からもたくさんのお褒めの言葉を頂戴するようになりました。有難うございます。

しかしながら、中には至らない職員もあり、ご迷惑をおかけしているかもしれません。ですが、人の成長は「すぐ」ではありません。

どうぞ、これからも青雲会を温かく応援していただきたいと思います。

職員一同、期待に応えられるよう、そしてたくさんの方に喜ばれるよう努力してまいります。



川井田室長(中央)と医療ソーシャルワーカー

青雲荘コーナー 全老健協会の口腔ケアにおけるヒアリング調査を受けて

青雲荘では、開設時より日常生活支援の一環として口腔ケアを行ってきました。しかし、一人ひとりの個別に応じたケアが出来ていたかと言うと、定かではありません。老健施設に求められるケアの質、向上を目指し、青雲会病院口腔外科の協力を頂き、口腔ケアへの取り組みを見直しました。その結果、個別に応じたよりよいケアができるようになりました。



昨年の12月には、全国2027箇所の老健を対象に、全老健協会主催で、口腔ケアへの取り組みアンケートが実施されました。その結果、青雲荘は上位6位内に入る取り組みとの評価をいただきました。今後老健施設への啓蒙、普及活動の参考にしたいとのことで、2月24日ヒアリング調査を受けるに至りました。

全老健協会副会長の高椋清先生を始め、老健事務局員1名、研究事業班1名計3名が来荘され、施設見学とヒアリング調査がありました。調査終了後は、今後の老健施設への期待される役割、スタッフの専門性の強化、理想とするケアの姿、などについて有意義なお話を伺うことができました。

これからも、専門的な質の高いケアが、提供出来るように、一致団結して頑張ります。皆様、青雲荘を宜しくお願い致します。



外来診療体制一覧表

2011年 3月現在

午 前	月	火	水	木	金	土
外 科	平 田	貴 島	平 田	貴 島	平 田	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】
	有馬(剛)	有馬(剛)	貴 島	有馬(剛)	有馬(剛)	
			前 田			
脳 神 経 外 科	島 内	島 内	島 内	島 内	池 田	
内 科・呼吸器科	川井田	川井田		川井田	川井田	高 塚 【第1、2、4、5診療】
腫瘍(癌)・健診外来	愛 甲	愛 甲		愛 甲		
循 環 器 科	福 留	福 留	福 留	福 留	福 留	福 留 【第3診療】
消 化 器 内 科 (内 視 鏡 室)	松 原	松 原	松 原	松 原	松 原	松 原 【第3診療】
	高 塚	野 口	野 口	高 塚	高 塚	野 口 【第1、2、4、5診療】
眼 科	有 村	有 村	有 村	田 中	有 村	有 村 【第1、3診療】
泌 尿 器 科	有馬(純)	山 川	有馬(純)	山 川	有馬(純)	有馬(純)/山川 【交替制】
人 工 透 析	山 川	有馬(純)	山 川	有馬(純)	山 川	
整 形 外 科		坂 梨			安 松	
歯 科 口 腔 外 科	守 山	守 山	守 山	守 山	守 山	守 山 【第3診療】
午 後	月	火	水	木	金	土
外 科	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	
			前 田			
脳 神 経 外 科					池 田	
内 科・呼吸器科 腫瘍(癌)・健診外来	愛 甲	愛 甲		愛 甲		
循 環 器 科	福 留	市 成 【第1、3診療】	田 原	福 留	福 留	
消 化 器 内 科 (内 視 鏡 室)	松 原	松 原	松 原 【第3水曜日のみ休診】	松 原	松 原	
		野 口	野 口			
眼 科	(手術)	有 村	有 村	田 中	有 村	
泌 尿 器 科	山 川	有馬(純)	山 川	有馬(純)	山 川	
人 工 透 析	有馬(純)	山 川	有馬(純)	山 川	有馬(純)	
整 形 外 科	坂 梨 15:00より	坂 梨			安 松	
歯 科 口 腔 外 科	守 山	守 山	守 山	守 山 【第1、2、4、5診療】	守 山	

診 療 日：月曜日～土曜日（土曜日は午前中） *日曜日・祝祭日は休診

受付時間：8：30～12：00 14：00～17：30

脳神経外科は金曜日以外は午前中でのみの診療となります。

循環器科・歯科口腔外科は予約制となります。眼科は一部予約制となります。

※ただし、急患については常時対応いたします。

※午後の診察は、13：30より受付致します。

基 本 方 針

- 「何か世の為 人の為」の理念のもとにさらに救急医療を続ける
- 「最期は青雲会病院で」と言われる病院作りを目指す

青雲だより 第46号

発行者：医療法人 青雲会 青雲会病院
広報委員会

〒899-5431 始良市西餅田3011

T E L：0995-66-3080

F A X：0995-66-3057

ホームページ：http://www.minc.ne.jp/seiun/

E-Mail：hospseiun@po.minc.ne.jp

ご意見などございましたら、お気軽にご連絡ください